

受話器のときはこの管のプレートより取りジヤックを挿入すると電力増幅管 6AR5 のグリッド入力回路を切ります。

電源整流管は 5Y3GT で十分な余裕を持っています。なお電源変圧器は 90, 100, 200V の 3 端子が出ていて、ヒューズにより切替えます。

強電界中での二重通信を考慮し、外部に接続されるところには高周波阻止回路が挿入してあります。

プレート・イン回路は継電器によるのと電子管によるものとの何れにも動作するようになっています。

4. 明 細

受信周波数範囲	1.6Mc-4.3Mc
入 力	75Ω 不平衡
出 力	1.5W (600Ω)
感 度	A ₁ , 1, 4μV, 出力 50mW S/N=10db, A ₂ , A ₃ , 5μV 出力 50mW, S/N=20db
選 択 度	6db 帯域幅 5kc

±12kc 離調にて 60db 以上減衰する。

影 像 比 55db 以上
A V C 特 性 入力 30db より 60db の変化に対し出力の変動は 12db 以内

低 周 波 特 性 300 より 2500c/s の間で 1000c/s を基準として +1db, -5db 以内

周 波 数 漂 動 電源投入後 10 分より 30 分間の漂動は 0.05 % 以下

電 源 電 圧 100V または 200V 単相 50 または 60c/s

消 費 電 力 70VA
寸 法 高さ 280 耗, 幅 260 耗, 奥行 415 耗

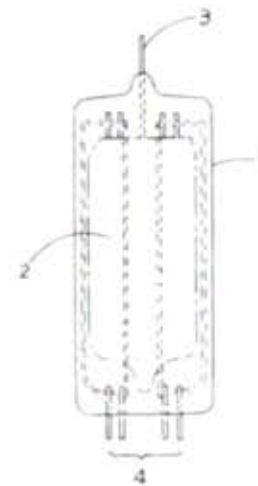
重 量 28kg
付 属 品 スピーカー箱 (6.5 吋 PM)
受話器 (SR-1)

(無線部)

実用新案登録第 429217 号

高絶縁抵抗真空管

この考案は図面に示すように、真空管 2 の制御格子電極 3 と他の電極 4 を分離して、吸湿性の少ない高絶縁抵抗を有する絶縁物 1 で固めた構造である。このようにすると必要な電極のみを簡単に分離できるから、真空管のみのときより絶縁抵抗ははるかに高く、また多少の湿気等は問題にならない。その上一般の真空管 (MT 管または GT 管) より、任意の形状のものができ、高度の測定用真空管として特に小型軽量を目的とする探触子型の測定器用真空管等に用いて効果がある。



第 1 図